

平成29年度卒業証書授与式

K
啓
新
新
聞



新体育館にて、第20回卒業証書授与式を挙行政いたしました。全校生徒と卒業生の保護者が集い、厳粛な中にも温かく、思い出深い時となりました。



学校長式辞

建学の精神・校訓・スローガンの大切さ
家族・友達・支えてくれる人の大切さ
人を笑顔にしていける大切さを伝えました。

式後は恒例となった学校長エールで送り出し。
みんないい顔で巣立っていきました。

卒業生の未来が幸せで
満ちあふれていることを願うばかりです。

校長 荻原 昭人

本当は啓新高校を卒業したくはないのです。
皆の顔を見るたびに寂しくて、名残惜しくてたまりません。
しかし、辛くても私たちには叶えるべき夢や目標があり
次のステージに進まなければなりません。
私は3年間で得ためぐりあいを大切に
過ぎ去った日々の思い出を箱にしまっておきたいと思います。
そしていつか、大きな壁にぶつかり挫けそうになったときに
この箱を開けて、思いをめぐらそうと思います。
いくつになっても「可能性への挑戦」を忘れないために。

縣 若葉さんの答辞より抜粋



卒業生答辞



卒業証書授与



昨年引き続き、本校生徒（そば部3年生）が認定を受けました！

「高校生そば打ちマイスター」認定

※同マイスター認定制度とは 高校生へのそば打ち普及に取り組む県麺類業生活衛生同業組合がそば打ちの基本技術を習得した高校生をマイスターとして認定するものです。



前列左から、堀川 優香・金城 リカ・山谷 好香（啓新高校そば部の3人）

そば部部长、堀川

「はじめは飽きたら辞めれば良いという軽い気持ちでしたが、でも3年間続けて本当に良かった。高校最後の大会では全国3位という結果を残せたことで料理人としての未来に自信をもつことができました」

（堀川さんは昨年の全国高校生そば打ち選手権大会個人の部にて県勢初の3位を獲得）

そば部顧問、吉川先生

「認定を受けた3年生には団結力がありました。自分たちで話し合い、問題を解決し、結果を残した3人、啓新そば部に新たな伝統を築いてくれました」

調理科2年実技発表会

目的
2年間で学んだ調理の知識や技術を活用してワンプレートランチを作り発表することで、自分の1年間の成長を確認するとともに自信をつける。



生徒によるプレゼン

ソースにこだわった生徒、和食にこだわり抜いた生徒、思いは様々なれど見事に表現。料理が語りかけてくるようでした。生徒のプレゼンも熱かった。

みんな料理についての思いを懸命に伝えてくれました。人に伝えることに難しさや楽しさも学んだ良い機会。

学びが多い実技発表会でした。2年生調理科の諸君、ご苦勞様でした。来年の卒業料理を期待しているよ！

校長日誌より抜粋

それぞれの思いがこもったワンプレートランチ



啓新のイマがわかる！

啓新高等学校 HP 内で
校長日誌（ブログ）毎日更新中！
公式の SNS をやっています！



日本音楽部

卒業生感謝ライブ



1日1日は長く感じているのに、振り返ってみれば驚くほどあっという間に過ぎた3年間。ちゃんと成長できたのか少し不安ですが、色んな方々の支えのおかげでここまでやってこれたのだと思います。上手く弾けず苦しかった時も、根気強く私たちにご指導してくださいました先生、至らないところも多かった私たちにしっかりとついてきてくれた後輩達。心配ばかりかけてしまったけれど、最後まで応援し支えてくれた家族。今まで出会った多くの方々に最高の感謝を伝えられるように最後まで思いを込めて演奏します。



笑って怒って泣いて、また皆で笑って。

3年間の思い出全てが私にとってかけがえのない宝物です。

日本音楽部部长 竹内



出合いの全てに感謝です